



# 氷川前遺跡第99-1地点 発掘調査速報

作成日：2023.10.16  
富士見市教育委員会  
生涯学習課 文化財G

## — ① 令和4年度・試掘調査の様子 —

氷川前遺跡第99-1地点の調査は、2023年1月下旬の試掘調査から始まりました。試掘調査とは、調査を行う範囲の一部を掘り下げて、昔の人々の生活の痕跡があるかを確認するものです。今回の調査では、調査区内に、関東ローム層（赤土）が見える深さまでの溝（トレンチ）を約3m間隔で掘っていました。



重機で掘った溝「トレンチ」の下面を、人力で平らに削り、土の色や硬さを観察する

もし関東ローム層が平坦に堆積していれば、トレンチの底には関東ローム層の明るい黄色が一面に見えるはずです。

黒や茶色の土が見える場合は、その部分の関東ローム層が、何らかの要因で自然の状態から改変された可能性が考えられます。

その「要因」が昔の人々の生活によるものだった場合は、遺跡として記録や保存を行うこととなります。



黄色がかった関東ローム層の中で、部分的に黒い土が堆積しているのが見える。「竪穴式住居」の跡か？



トレンチの下面で検出された貝殻  
昔の人が捨てたものか？

結果として、氷川前遺跡第99-1地点の試掘調査では、現在の地表から30～80cmほどの深さで、竪穴式住居の痕跡20軒分以上や、昔の人々が貝殻を捨てた痕跡「貝塚」など、昔の人々の生活の痕跡が多く見つけられました。

この調査結果をもとに、本発掘調査が必要なのかどうか、予算や期間はどのくらい必要になるのかなどを判断し、調査計画を立てました。